

平成29年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年4月12日

上場会社名 株式会社ティムコ
 コード番号 7501 URL <http://www.tiemco.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 誠一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 中山 芳忠

TEL 03-5600-0122

四半期報告書提出予定日 平成29年4月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年11月期第1四半期の業績(平成28年12月1日～平成29年2月28日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年11月期第1四半期	612	△7.6	△31	—	△29	—	△22	—
28年11月期第1四半期	663	5.0	△27	—	△24	—	△21	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年11月期第1四半期	△9.20	—
28年11月期第1四半期	△8.62	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年11月期第1四半期	5,667	4,818	85.0	1,945.69
28年11月期	5,752	4,868	84.6	1,965.77

(参考)自己資本 29年11月期第1四半期 4,818百万円 28年11月期 4,868百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年11月期	—	0.00	—	12.00	12.00
29年11月期	—				
29年11月期(予想)		0.00	—	12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年11月期の業績予想(平成28年12月1日～平成29年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,590	7.6	28	135.4	29	68.8	18	102.9	7.27
通期	3,020	6.8	38	—	38	—	23	—	9.29

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年11月期1Q	3,339,995 株	28年11月期	3,339,995 株
② 期末自己株式数	29年11月期1Q	863,444 株	28年11月期	863,424 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年11月期1Q	2,476,558 株	28年11月期1Q	2,476,571 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項は、【添付資料】P3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(自平成28年12月1日 至平成29年2月28日)における日本経済は、緩やかな回復基調がみられるものの、中国をはじめとする新興国の景気の減速や英国のEU離脱問題などにより、世界経済の不透明感が高まるとともに、米国大統領選後の金融市場に不安定な状況が続いております。

当社の関連するアウトドア関連産業においては、釣用品市場、アウトドア衣料品市場ともに消費が落ち込んでおり、全般に厳しい市場環境となりました。

このような状況の中、当社では収益内容の改善に取り組むべく積極的に営業活動を行ってまいりましたが、市場低迷の影響を受け、当第1四半期の売上高は6億12百万円(前年同期比7.6%減)となりました。

また、売上減少に連動して、営業損失は31百万円(前年同期間 営業損失27百万円)、経常損失は29百万円(前年同期間 経常損失24百万円)となりました。

なお、法人税等調整額△9百万円などの影響を受け、四半期純損失は22百万円(前年同期間 四半期純損失21百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(フィッシング事業)

フィッシング事業に関しては、折からの市場低迷に加えて、主力商品の発売時期を釣りシーズン開始の3月以降に設定したことなどにより、当第1四半期におけるフィッシング事業の売上高は前期を下回り、1億74百万円(前年同期比11.2%減)となりました。また、新製品発売に先行して販売促進費等が増加したことにより、セグメント利益(営業利益)は3百万円(前年同期比80.2%減)となりました。

(アウトドア事業)

アウトドア事業に関しては、シーズン初期の暖冬傾向により、衣料品市場が全般に低迷いたしました。当社ではマークダウン(値引販売)等の販売促進策を実施することにより冬物の販売に注力いたしました。

その結果、アウトドア事業の売上高は4億29百万円(前年同期比6.2%減)となりましたが、前年同期に比べてセール品の割引率が低くなったこと等の影響により、セグメント利益(営業利益)は20百万円(前年同期比86.5%増)となりました。

(その他)

その他の主な内容は、損害保険代理業の手数料収入ならびに不動産賃貸収入売上であります。当第1四半期累計期間に関しては、その他売上高は8百万円(前年同期比1.7%増)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は6百万円(前年同期比2.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ85百万円減少し56億67百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加3億29百万円や、季節的な影響による商品及び製品の増加1億64百万円、有価証券の満期が1年内になったことに伴う投資有価証券からの振替による増加1億円など一方で、有価証券が償還時期を迎えたこと等による減少5億円や受取手形及び売掛金の減少85百万円などの影響により、前事業年度末に比べ18百万円増加し、42億35百万円となりました。

固定資産は、投資有価証券の有価証券への振替えなどによる減少1億円などの影響により、前事業年度末に比べ1億4百万円減少し、14億31百万円となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ35百万円減少し8億48百万円となりました。

流動負債は、未払費用の減少19百万円や未払消費税等の減少2百万円、未払法人税等の減少6百万円、返品調整引当金の減少19百万円など一方で、支払手形及び買掛金が16百万円増加したことなどにより、前事業年度末に比べ30百万円減少し、6億16百万円となりました。

固定負債は、長期リース債務の減少5百万円などにより、前事業年度末に比べ5百万円減少し2億32百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ49百万円減少し、48億18百万円となりました。これは主に、四半期純損失22百万円の発生や前事業年度決算の配当支出29百万円などの一方で、その他有価証券評価差額金の増加2百万円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成29年1月19日発表の「平成28年11月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年11月30日)	当第1四半期会計期間 (平成29年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,370,001	1,699,002
受取手形及び売掛金	566,024	480,446
有価証券	750,209	350,322
商品及び製品	1,478,109	1,642,509
その他	57,760	66,902
貸倒引当金	△5,962	△4,071
流動資産合計	4,216,142	4,235,111
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	592,572	584,873
土地	653,376	653,376
その他(純額)	30,571	30,923
有形固定資産合計	1,276,521	1,269,173
無形固定資産	48,929	44,733
投資その他の資産	211,180	118,078
固定資産合計	1,536,631	1,431,986
資産合計	5,752,773	5,667,098
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	479,170	495,312
未払法人税等	17,021	10,615
返品調整引当金	28,551	9,143
賞与引当金	-	8,687
その他	122,365	92,531
流動負債合計	647,109	616,291
固定負債		
退職給付引当金	126,442	125,275
その他	110,860	106,922
固定負債合計	237,302	232,197
負債合計	884,411	848,489
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,079,998	1,079,998
資本剰余金	3,861,448	3,861,448
利益剰余金	392,887	340,374
自己株式	△478,024	△478,033
株主資本合計	4,856,310	4,803,787
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,050	14,821
評価・換算差額等合計	12,050	14,821
純資産合計	4,868,361	4,818,609
負債純資産合計	5,752,773	5,667,098

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年2月29日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年2月28日)
売上高	663,044	612,557
売上原価	391,942	343,424
売上総利益	271,101	269,132
返品調整引当金戻入額	24,544	28,551
返品調整引当金繰入額	7,495	9,143
差引売上総利益	288,149	288,540
販売費及び一般管理費	316,090	319,905
営業損失(△)	△27,941	△31,364
営業外収益		
受取利息	636	218
受取配当金	358	558
為替差益	1,759	1,227
その他	753	192
営業外収益合計	3,507	2,197
営業外費用		
支払利息	-	73
その他	29	39
営業外費用合計	29	112
経常損失(△)	△24,464	△29,279
税引前四半期純損失(△)	△24,464	△29,279
法人税、住民税及び事業税	3,179	3,179
法人税等調整額	△6,306	△9,664
法人税等合計	△3,127	△6,485
四半期純損失(△)	△21,336	△22,794

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期累計期間(自 平成27年12月1日 至 平成28年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	合計 (注)3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	196,995	458,070	655,066	7,977	—	663,044
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	196,995	458,070	655,066	7,977	—	663,044
セグメント利益又は損失(△)	16,490	10,934	27,424	6,727	△62,094	△27,941

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△62,094千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っています。

II 当第1四半期累計期間(自 平成28年12月1日 至 平成29年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	合計 (注)3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	174,904	429,540	604,444	8,113	—	612,557
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	174,904	429,540	604,444	8,113	—	612,557
セグメント利益又は損失(△)	3,265	20,388	23,654	6,902	△61,920	△31,364

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△61,920千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っています。